

2025年大阪・関西万博 アクションプランVer.3（案）について

2022年12月

国際博覧会推進本部事務局

1. アクションプランについて

- 大阪・関西万博のコンセプトである「未来社会の実験場」の具体化に向けた、各省庁の現時点における目指すべき取組の概要、今後の実施方針についてまとめたもの。国際博覧会推進本部（本部長：岸田総理）で決定。
- 半年に1回程度改訂し、取組を具体化していく。

<これまでの経緯>

2020年12月 基本方針（国際博覧会推進本部①、閣議決定）

2021年8月 総理よりアクションプランとりまとめの指示（国際博覧会推進本部②）

2021年12月 **アクションプランver.1の決定**（国際博覧会推進本部③）

2022年6月 **アクションプランver.2の決定**（国際博覧会推進本部④）
「健康・医療分野」を2施策から10施策へ拡充。記載項目の具体化、工程表の追加。

2022年12月 **アクションプランver.3の決定（予定）**（国際博覧会推進本部⑤）
万博交流イニシアチブの記載。スタートアップ施策、教育・スポーツ分野等の新規施策の追加。

2. 万博交流イニシアチブ

- 日本企業の国際競争力を強化することで、コロナ禍からの経済社会活動の回復を確かなものとし、経済成長を実現するためには、2025年大阪・関西万博の成功が必要不可欠。
- 万博がもたらすメリットを大阪・関西のみならず日本全国が享受することができるよう、全国的な機運醸成を図り、コロナ禍で縮小した国内外との人的交流を復活させることで、地域活性化を実現することが重要。

万博を契機とした交流人口の拡大

1 自治体交流

2 観光交流

3 教育交流

4 文化・
スポーツ交流

5 ビジネス・
学術交流

- 地域経済の活性化
- インバウンドの回復
- 世界に通用する人材育成
- 新しいビジネス・イノベーションの機会の創出
- ソフトパワーの強化

- 万博のメリットを日本全国が享受
- 世界における日本のプレゼンス向上

2. 万博交流イニシアチブ



自治体交流

■ 万博国際交流プログラム

ナショナルデー等を活用し、全国自治体の子ども・若者等の海外交流を促進。

■ 自治体の会場内参加の促進

催事参加、営業参加、会場・運営参加等

■ 自治体の会場外参加

Team EXPO参加、万博ロゴ利用、ミyakuma活用、万博デザイン利用等

万博を契機とした 交流人口の拡大



教育交流

■ 修学旅行等の促進

修学旅行の行程に万博を組み込んでもらうための情報発信。

■ 万博に関する教育プログラム

万博のテーマを通じてSDGsへの理解を深める小・中学生向け教育プログラムの作成、周知。

ビジネス・学術交流



■ テーマウィークの展開

地球規模の課題を設定し、国際的な対話プログラムやビジネス交流を全国的に展開。

■ 国際会議等（MICE）の誘致促進

MICE誘致のプロモーションや地域のMICE誘致活動の支援。

観光交流



■ 来場者の全国への誘客促進

観光コンテンツの充実化等、観光回復の起爆剤となる取組を集中的に実施。海外への訪日プロモーションを推進。

■ 被災地復興の情報発信

復興状況や被災地発の最先端技術の情報発信。会場と福島を繋ぐツアーを実施。

■ 食文化の発信

会場内外で日本食や日本産酒類、ジビエ等を提供し、日本食文化の魅力を発信。各地域への誘客を促進。

文化・スポーツ交流



■ 「日本博2.0」の展開

万博を通じた日本文化発信に向け、文化芸術イベントを支援。

■ スポーツ交流の促進

スポーツと連携したイベントや、障害者スポーツの振興に資するイベントの実施。

■ アイヌ文化の発信

伝統的なアイヌ舞踏を披露するイベントの実施や関連する工芸品等の展示。

【参考】テーマウィークについて

- 大阪・関西万博の3つのサブテーマ（「いのちを救う」「いのちを与える」「いのちをつなぐ」）に基づき、地球規模の課題を週単位でテーマとして設定。課題解決型万博として、本格的な対話プログラムや、新たなビジネスマッチングを創出する国際ビジネス交流を導入する。
- 期間中はテーマに関するイベントやプログラムを、協会、政府、自治体、公式参加国など様々な主体が、会場内外、全国規模で実施。政府としても各テーマに合わせた企画を立案し、フォーラム等の開催のほか、国際会議の誘致や連携を行う。
- 具体的なテーマや日程は、2023年春頃決定予定。

＜テーマウィークのイメージ＞

- ・国際会議
- ・展示会、見本市
- ・大会
- ・ビジネスイベント
- ・シンポジウム 等

テーマウィークに合わせ
全国で実施

アジェンダ2025

世界的な有識者を招いたフォーラム
万博のメッセージを世界に発信

Expo 2020 Dubai World Majlisの様子



(出展)「EXPO 2020 DUBAI UAE」ホームページ

ドバイ万博の10のテーマ

気候変動と生物多様性	旅行と交流
宇宙	SDGs
都市と田園の開発	健康とウェルネス
包摂性	食と農業と暮らし
知と学習	水

3. 個別施策（新規追加項目）

■ スタートアップの参画促進（経）

- ・ グローバルのスタートアップ関連プレイヤーの呼び込みを目指した、大規模なスタートアップカンファレンスを実施。

■ 宇宙に関する展示・情報発信 （内府・文）

- ・ 日本の宇宙分野における取組（JAXAや産業界の取組）に関する情報を発信。
- ・ 万博会期中に探査機が火星圏に到着する予定の火星衛星探査計画（MMX）等に関して、河森館において展示。

■ 万博国際交流プログラム（内閣）

- ・ 全国各地域において、子ども・若者等の地域住民と万博参加国の関係者が、地方公共団体の事業を通じ継続的に国際交流していく枠組みを創設。

■ スポーツイベントとの連携（文）

- ・ 人生や社会を豊かにするスポーツの普及啓発を行う「Sport in Life推進プロジェクト」との連携イベントを実施。
- ・ 障害者スポーツの振興に資するイベントの実施や支援。

■ 万博を通じた学びの提供（文）

- ・ 万博会期中の修学旅行等の誘致を促進。
- ・ 子どもたちが、万博に向けた取組に参加しSDGsについて学ぶ教育プログラムの普及促進。

■ アイヌ文化の対外発信（内閣）

- ・ 万博を契機としたアイヌ文化の発信と民族共生象徴空間（ウポポイ）への誘客を図るため、伝統的なアイヌ舞踏の披露や工芸品等を展示。

3. 個別施策（主要項目）

1. モビリティ

■ 空飛ぶクルマの実現（経・国）

- ・ 遊覧飛行や二地点間移動など、空飛ぶクルマの活用と事業化を目指す。
- ・ 運航ルートや離着陸場の選定に関する調整に協力。
- ・ 機体の安全等に関する制度整備や交通管理を行う体制整備等を進める。

■ 自動運転の推進（デジ・国・警・総・経）

- ・ 来場者輸送の一部について自動運転を実現するため、自動運転車両調達・改造・システム開発や、必要なインフラの検討と設置にかかるスキームの調整を進める。

■ 電動自動車の活用拡大（環・国）

- ・ 会場アクセスバス等を担う運行事業者におけるEVやFCVバス等の活用を図る。

2. エネルギー・環境

■ 水素・アンモニア発電技術等の実証（経）

- ・ 万博会場外で発電した水素・アンモニア発電による電力を、万博へ供給する実証をGI基金を活用して実施。

■ 再エネ水素を使ったメタネーション実証（環）

- ・ 再エネを活用した水素と生ごみを発酵させて製造したバイオガスから、万博会場内において合成メタンを製造し、供給する実証を実施。

■ 資源循環に関する展示・実証（経・環）

- ・ プラスチック等の資源循環の取組の展示・発信や、来場者の行動変容を促す取組等を行い、レガシーとして万博後にも受け継がれるようにする。

3. 個別施策（主要項目）

3. デジタル

■ 多言語翻訳技術の高度化（総）

- ・ 現状の逐次翻訳に加えて、AIによる実用レベルの「同時通訳」を実現するための研究開発を実施。
- ・ 新たに主要外国語間の同時通訳技術の研究開発も実施。

■ Beyond 5G ready ショーケース（総）

- ・ 2030年頃に実用化を目指している次世代移動通信システム「Beyond 5G」について、2025年までの先行的な研究成果等を世界に向けて展示・実証を検討。Beyond 5Gの早期実現とグローバル展開を加速。

4. 健康・医療（ライフサイエンス）

■ Personal Health Record（PHR）の活用（経）

- ・ 来場者の健康関連データと会場内施設・サービスとの連携を行うことで、来場者の健康状態に即してカスタマイズされたサービス体験を実現。
- ・ 博覧会協会で検討を進めている万博アプリとの連携や、EXPOポイント付与等のインセンティブについて検討。

■ 先進的な医療機器・医薬品等の情報発信（厚・経）

- ・ 再生・細胞医療・遺伝子治療分野や、先進的な医薬品・医療機器等、日本の世界最高水準の取組みに関する展示や体験、発信方法を検討。

3. 個別施策（主要項目）

5. 観光・食・文化・スポーツ・教育

■ 全国への誘客促進（内閣・国）

- ・ 万博来場者を全国に誘客し、地域の活性化につなげることで、万博の開催効果を全国に波及させる。
- ・ インバウンドの本格的な再開に向け、観光回復の起爆剤となる取組等を集中的に実施。

■ 食文化・酒類の魅力発信（農・文・財）

- ・ 会場内外において、日本の食文化を代表する料理や日本産酒類等に触れる機会を提供し、日本の食文化の振興を図る。

■ 文化・芸術等の発信（文・経・内府）

- ・ 万博に向け、伝統芸能、舞台芸術、音楽、メディア芸術、アート、工芸品、まんが・アニメ等を国内外へ発信。一部の取組は会場内で実施を検討。

6. 最先端の科学技術

■ ロボットの活用推進（経・文）

- ・ 自動配送ロボットによる万博会場内での配送サービスの実施。
- ・ ロボットによる自律的な施設内搬送、店舗内陳列等のサービスの実施や展示。
- ・ 自律的な言語により人とコミュニケーションをするロボットの実証を実施。

■ 防災DX等の技術活用（文・総）

- ・ 防災科研の防災DXの取組及び研究開発成果を活用し、災害や安全に係る情報を適時適切に提供することで会場運営を支援。
- ・ リモートセンシング技術を活用して得た高精度な降雨データ等をスーパーコンピュータで解析し、運営スタッフ等に提供することを検討。